

小田原市における循環のみちの実現(第3期)
(第1回変更)

おだわらし
小田原市

令和 3年 1月 7日

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年01月07日

計画の名称	小田原市における循環のみちの実現（第3期）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	小田原市												
計画の目標	下水道の整備を行うことで、公衆衛生の向上や公共水域水質の保全を図ることで、安心安全で快適な暮らしを実現する。 集中豪雨や都市化の進展に伴う浸水被害リスクの増大に対し、総合的な浸水対策を実施することにより、水害に強い都市を作るとともに、安心安全な市民生活の確保を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,717	A	1,717	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	下水道人口普及率を82.9%（R2）から83.4%（R6）に増加させる。 下水道人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／行政人口（人）	82%	83%	83%
2	事業計画区域内の雨水渠の整備率を32.3%（R2）から32.5%（R6）に増加させる。 事業計画区域内の雨水渠整備率 事業計画区域内の整備面積（ha）／事業計画区域面積（ha）	32%	32%	32%
3	流量計設置実施率0%（R2）から100%（R6）に増加させる。 流量計設置率 流量計設置数（箇所）／流量計設置計画数（箇所）	0%	100%	100%

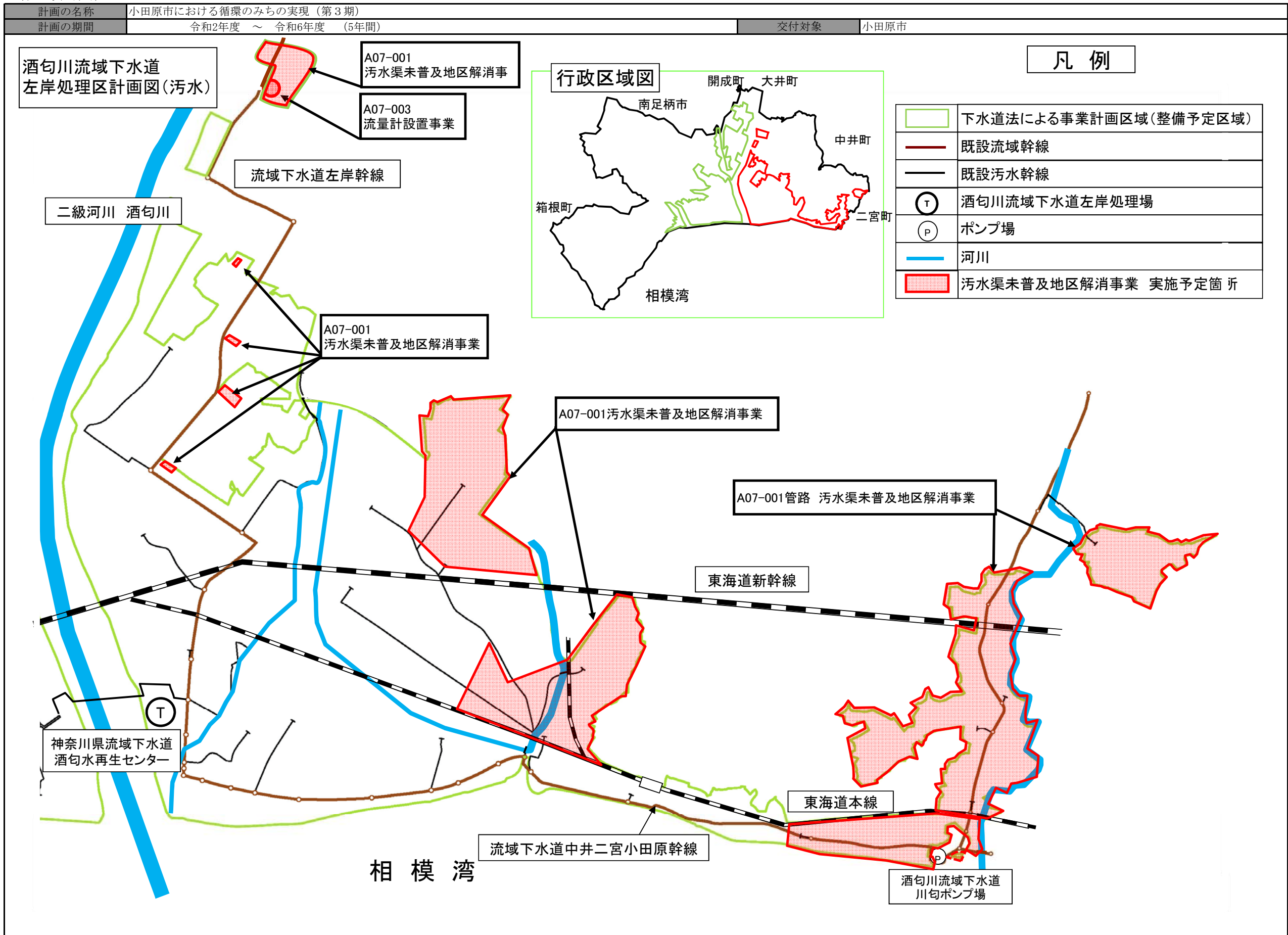
備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
指標2は防安分（A基幹事業A07-005）を加味した指標												

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02				
配分額 (a)	0				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d- e- f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面)

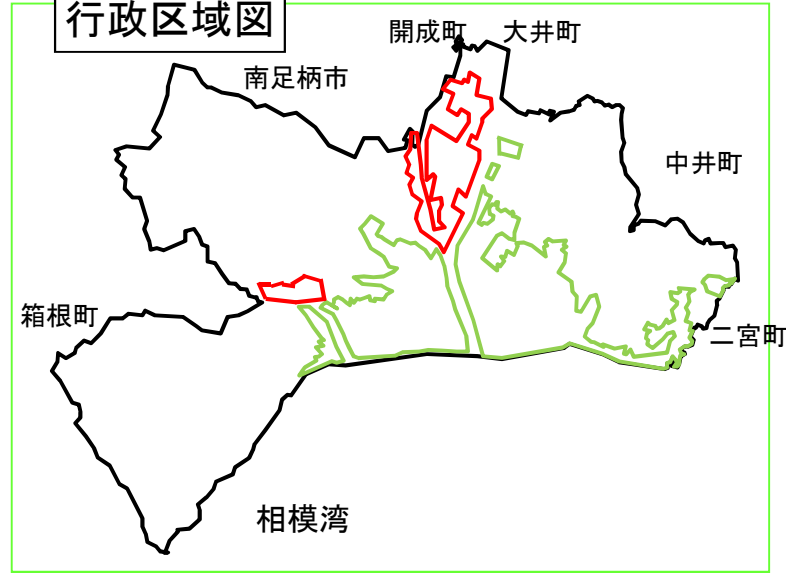


(参考図面)

計画の名称	小田原市における循環のみちの実現 (第3期)	交付対象	小田原市
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)		

酒匂川流域下水道 右岸処理区計画図(汚水)

行政区域図



凡例

	下水道法による事業計画区域(整備予定区域)
	既設流域幹線
	既設汚水幹線
	酒匂川流域下水道左岸処理場
	ポンプ場
	河川
	汚水渠未普及地区解消事業 実施予定箇所

A07-001管路 汚水渠未普及地区解消事業

大雄山線

二級河川 狩川

小田急線

二級河川 酒匂川

流域下水道狩川幹線

流域下水道右岸幹線

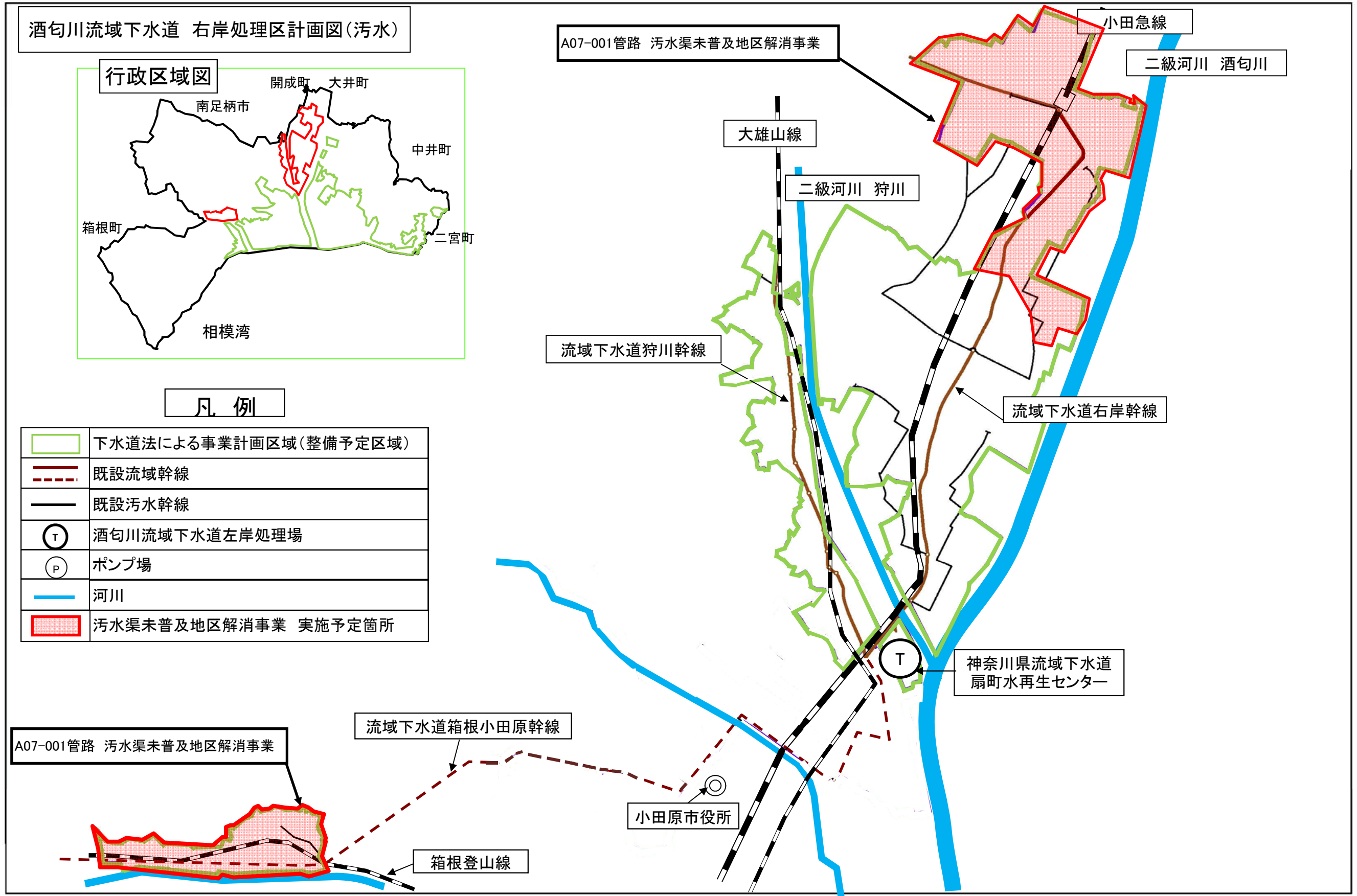
神奈川県流域下水道
扇町水再生センター

A07-001管路 汚水渠未普及地区解消事業

流域下水道箱根小田原幹線

小田原市役所

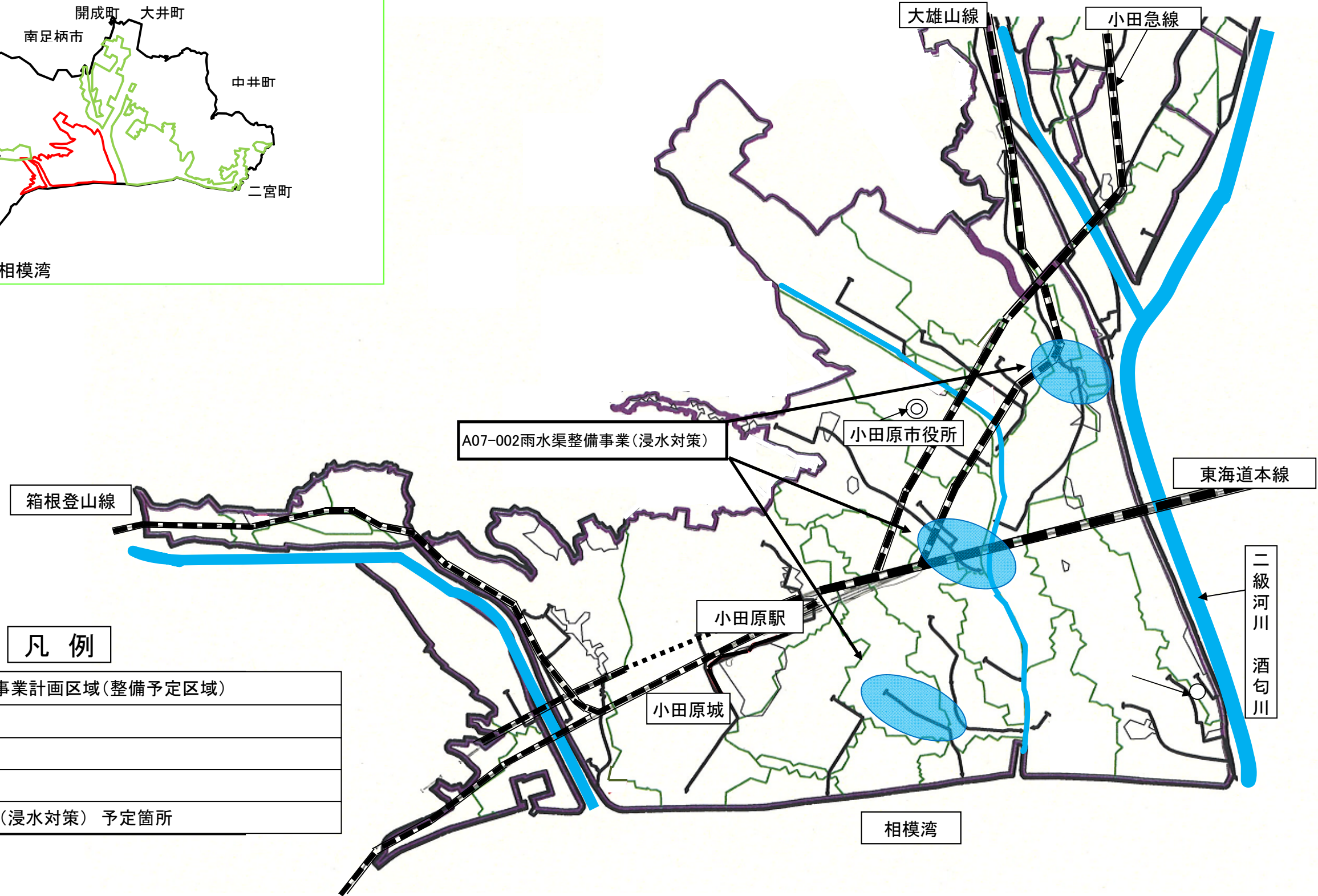
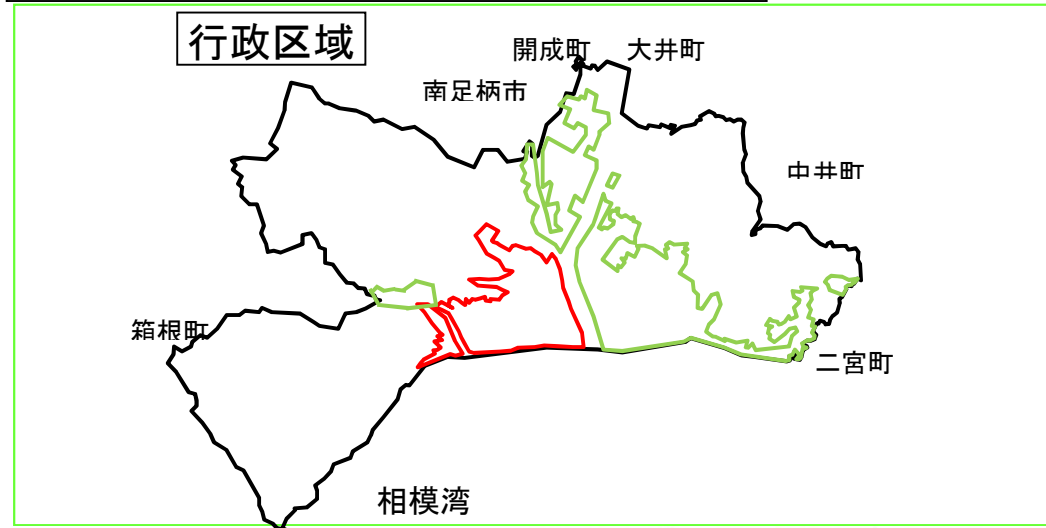
箱根登山線



(参考図面)

計画の名称	小田原市における循環のみちの実現（第3期）	交付対象	小田原市
計画の期間	令和2年度～令和6年度（5年間）		

酒匂川流域下水道計画図(雨水)その1/2



凡例

	下水道法による事業計画区域(整備予定区域)
	排水区界
	雨水幹線
	河川
	雨水渠整備事業(浸水対策) 予定箇所

(参考図面)

計画の名称	小田原市における循環のみちの実現（第3期）	交付対象	小田原市
計画の期間	令和2年度～令和6年度（5年間）		

酒匂川流域下水道計画図(雨水)その2/2



凡例

	下水道法による事業計画区域(整備予定区域)
	排水区界
	雨水幹線
	河川
	雨水渠整備事業(浸水対策) 予定箇所

